

- 開催日時 平成 29 年 11 月 29 日(水)午後 6 時 00 分～8 時 00 分
- 開催場所 石部文化総合センター 2 階 視聴覚室
- 出席者 図書館協議会委員 9 人、教育部長、教育次長、事務局図書館長他 3 人
- 傍聴人 人
- 議 事 1. 移動図書館のあり方について  
2. その他

■開会

事務局	<p>定刻になりましたので、平成 29 年度第 3 回の湖南省立図書館協議会を開催させていただきます。本日 1 名の委員から欠席のご連絡がありました。9 名のご出席をいただいておりますので本会議が成立しております。では議事進行は会長に議長になっていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
議長 (会長)	<p>只今から平成 29 年度第 3 回の図書館協議会を開催させていただきます。事前に事務局から資料を配付していただきお目通しいただいておりますので早速みなさまからの意見を頂戴していきたいと思っております。</p> <p>図書館についての議題はみなさまそれぞれに色んなご意見をお持ちであることは前回までの会議でもわかりましたが、今回は前回の議題でもありました移動図書館のあり方について、これをなくすのではなく、これからも続けていくという方向性を前提にご協議いただきたいと思っております。</p> <p>前回も色々ご意見をいただいておりますが本日移動図書館の行政サービスの値段についてという資料も用意していただきましたのでその資料もご覧いただきながらご意見をいただければと思います。ただ費用は潤沢にあるわけではなく限られた予算の中で移動図書館を維持していくには、利用率もですが盛り上がって行かないと、これは大切なものでなくてはならないものという市民のみなさまにとっての存在でなければと思いますし、そういうものであるためにはどうしていかなければならないのかということについて、協議していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>資料No.1 の資料の内容をお伺いしたいのですがこれで県内の移動図書館の状況を示していただいておりますが、湖南省を見た時に移動図書館として蔵書冊数は 28000 冊で新たに 623 冊を受入れたということですね。ではお伺いしますが図書館の館にある本を適時入れ替えて移動図書館車に積んで行かれているのではないのですか？</p>
事務局	<p>623 冊は移動図書館用に新たに購入した冊数ですが、移動図書館車のバックヤードに移動図書館車の書庫がありそれも含めた冊数が移動図書館の蔵書冊数 28000 冊ですので、そこから適時入れ替えを行い車に積んで行きます。さらに利用者ニーズによって図書館の本も積んで行っております。</p>
委員	<p>再度確認なのですが 28000 冊は移動図書館車用の蔵書冊数で 623 冊 1 年で増えたということですね。ということは増えた冊数は微々たるものということですね。で、入れ替えている冊数というのはこの表には出てこないのですか？</p>

事務局	入れ替えている冊数は出てきておりません。蔵書冊数 28000 冊は増えるだけでなく当然古くなったり利用が見込めないものについては、甲西石部館同様除籍いたします。その上で甲西石部両館から移動図書館車用に回す資料もありその冊数はカウントのしようがないですが移動図書館の蔵書として 28000 冊は備えているという状況です。
委員	それをお聞きしましたのは移動図書館の性格を考える上で、「移動図書館用の本があるんだよ」と、そしてそれは一般の図書とは関係がなくて独立して「移動図書館はこういう本だよ」というような考えのもとで整備されたものなのかと、何か特別のものとしてお考えになったのか気になったのでお尋ねしています。
事務局	石部甲西移動図書館の利用のニーズを考えながら、それぞれの図書館で利用が高であろう図書を選書の際考えており、移動図書館も同様に移動図書館の利用者のニーズを考えて図書を整備しています。
委員	本日もご提示いただいたこの資料ですが、これを図書館がどういう意図をもって提示されたのか、まあ県内の移動図書館の現状はこういうことだという参考にしろということだと思いますが、実際業務をされている図書館にとってこういう県内の移動図書館の位置づけについてどういう風にお考えになられているのか、もう少しお伺いしたいと思いました。
事務局	県内の状況また裏面には全国の状況もつけておりますが、巡回箇所や巡回日数、車の積載量も様々で、また県内で一番サービス開始が最近なのが米原市ですがそれも 2011 年でそれ以降県内では移動図書館サービスの展開がなされていない等、移動図書館の現状を示させていただきました。
委員	湖南市の予約冊数が網掛けになっているのはどういう意味ですか？
委員	予約はあるのですよね？冊数がわからないということですか？
事務局	はい。湖南市では移動図書館のみの予約冊数の統計はとっておりません。しかし予約本を移動図書館で受け取られていますので。予約のサービス自体はあります。
委員	資料No.4 の表の下「*移動図書館の巡回は、平成 19 年 4 月までは月 2 回巡回、平成 20 年度から 3 週間に 1 回の巡回。」になりましたとのことなのですが、平成 19 年度の巡回回数はどうだったのですか？
委員	これは貸出冊数が 20 年度から減っているので平成 19 年度は月 2 回の巡回だったのでしょね。「平成 19 年 4 月までは月 2 回」ではなく「平成 20 年 4 月まで（4 月以前）は月 2 回」の単純な間違いでしょね。
事務局	すみません。再度確認いたしますが貸出冊数から考えて委員の言われるとおりでと思います。
委員	巡回回数が減ってきたのはどのような理由だったのでしょうか？

事務局	<p>月2回から3週間に1回の巡回に変更になったのは図書館自体の貸出期間の変更に伴って移動図書館も3週間に1回の巡回に変更になりました。また当初から移動図書館車の運行は図書館の正職員が自ら車を運転して巡回しており人の確保が困難になってきたということとから、平成27年度の途中からは職員負担を軽減するために移動図書館車の運転を委託して費用負担をすることに変更しましたが、その費用にも限界があり月1回の巡回に変更して現在に至っています。</p>
委員	<p>前回の資料で小・中学校図書館の月別貸出冊数と人数ですが、これをつけていただいた意図ですが、確かに学校でもたくさん借りておられるのですが、まあ中学校になると激減するのですね。それはさておき学校別の移動図書館の方の冊数と、何か関連があるのかと思っていたのですが正直よくわからなくて、そもそも関連付けるのは無理なのかと試してみたりしていました。これを提示いただいたのは学校での状況がこうだからそれも踏まえて移動図書館について考えてくださいということでしょうか？</p>
事務局	<p>関連性といわれると分析は難しいのですが、学校図書館がありながら移動図書館が学校への巡回を行っているということを考える参考につけさせていただいています。</p>
委員	<p>学校図書の利用をどう評価すればよいのか、多いのか少ないのか、他との比較も我々材料を持っていないのですが、第1回の会議で教育長が言われたように、ここが充実したので移動図書館は他に考えた方がよいよということなのだろうと思うのですが、この学校の図書のあり方というのはどう評価すれば良いのかなというのはいささかわかりやすく教えてもらえますか？</p>
委員	<p>よろしいですか？湖南省の教育方針等にも読書活動の推進というのが挙げられていますが、湖南省として子どもをどういう風に育てていこうかということと関連することだと思います。湖南省の子どもたちは年にもよるので変化もありますので一概には言えないのですが、小中学校を比較すると貸出冊数では小学校の方が多く見えますが小学校の方が全国平均を少し下回っていて、中学校の方がまだ健闘しています。これは別の調査にもなってきますので、これがイコールであるということではないのですが、ですからもっと学校図書館を充実させるとか、学校司書の時間数を増やしていただくとかということをしていかないと教育方針であげられているような読書活動の推進ということは実現しないだろうと私は思いますしそれはどうなのかお伺いしたいですし、それが先ほどの委員の疑問にも答えていただくことではないかと思えます。</p>
事務局	<p>確かに全国的な傾向とか比較できる資料とかご準備できていませんので、ご用意した資料では学校別の比較のみで湖南省と全国的比較ができないので資料が足りませんでした。</p>
委員	<p>別にその資料がなくても湖南省として読書活動の推進に力を入れるのであれば、例えば学校図書館の図書購入費をどんどん毎年上げていただくとか、あるいは学校司書の来ていただく日をどんどん増やしていただくとかいうことがあれば移動図書館に頼らなくても良いと思いますがそうになってないですね。教育長は学校図書館を使えば良いと言われていますがその部分は現状維持のままであって、移動図書館が</p>

	減っていけば子どもたちが本に触れる機会が少なくなるということだと思います。だから教育方針で示されている読書活動の推進ということを考えると逆行することになるのではないかと思います。
事務局	<p>図書館の職員で会議をもって移動図書館を今後どうしていくのかということについて議論しました。現状移動図書館は車の運転委託ということで費用を予算化しまして運行を行っております。その限られた予算の中で予算が不足しておりますので今年度は小学校運行への車の運転は運転委託できず、図書館職員で運転をしておもに毎週水・木曜日小学校へ行っているという現状です。運転に一人と学校は貸出も集中しますのでもう一人の二人体制で巡回しているのですが、運行が平日に限られますので図書館職員とは言え行政職員ですので、行政の業務があったり他課との連携事業であったり、会議や研修があり甲西館については水木金に動員もあつたりと重なり、平日開館日の図書館サービスに影響が出ているという状況があります。そういうこともあり図書館としましては、職員が図書館サービスに専念できる土日に移動図書館サービスを展開したいと思います。そこで子どもも、移動が困難なお年寄りや障がい者や、学校に行けない子どもや引きこもりで家か病院くらいしか居場所がない方にも出てきていただけるような働きかけを行ったり、ただ本の貸し借りをするのだけではなく、移動図書館や本をきっかけに人が集まって例えば地域の方がそこでおはなし会や読み聞かせをしてくださるとか、そういう場づくりという意味での移動図書館のサービスを展開するということが図書館職員の中では話し合いをいたしました。学校へは平日巡回は行わなくて土日なら地域のどこかでご利用いただけるかと思いますし、もしかしたら学校によっては、場所がなければ土日学校でやってくれても構わないというお申し出がいただけるところがあるかもしれませんし、そういうことで土日にしっかりと図書館の地域サービスを展開したいという考えです。移動図書館は地域での居場所をつくるという地域サービスを展開するという片輪と、片や図書館を知っていただく、図書館に来ていただくためのPRとして例えば祭りに出かけていく、ショッピングセンターのイベント時に出かけていくとかの両輪でサービス展開し、限られた予算の中でより多くの方に効果的に利用していただけるように展開していきたいと思っておりますし、図書館サービスの移動図書館に関するグランドミッションとして提案いたします。</p>
委員	<p>聞かせていただいて、資料があっちこちになっているのもっと資料を精査していただけたらもう少し踏み込んだ議論ができるのではないかと思います。私的には単純に民間委託すればどうかという提案をしようかと思っていたのですが、その前に民間委託しての利用があるのかという部分があつて、また本日のマツゾウくんの資料を拝見して1箇所長くて30分、短ければ20分という滞在時間の割には蔵書冊数は28000冊もあつて、現実問題20分で28000冊から本を選んでおられるのかと不思議に思いました。ただ私は一度もマツゾウくんを利用したことがないので、この委員のみなさまの中はいよいよよく利用しているという方がおられるならあれですが、マツゾウくんに乗ったこともないし最近見かけたこともないという方が多分多い中で、この議論をすすめるのはどうなのかなど。実際車を準備しておいてくださって乗ってみると色々</p>

	意見も出せるかもしれませんが、20分で28000冊というのはとりあえず終わればよいという風にしか見えないのです。
事務局	説明不足で申し訳ありませんが28000冊全部を車に積んでいるわけではなく、車に積んでいるのは3850冊です。28000冊というのはバックヤードという移動図書館用の書庫にある冊数です。
委員	それはそれで問題ですね。28000冊も本があつて3800冊しか持って行っていないというのは。およそ25000冊誰にも貸出することなく置いてあるだけってことですよね。
事務局	車には積んでいないですが図書館のHPなどの検索機能を使ってとかお問い合わせいただければ、移動図書館用の書庫の本も借りていただけます。それを移動図書館でもってきてほしいということなら移動図書館車に積んで持っていきます。これは図書館自体もそうなのですが、開架室という来館していただいて見ていただいているところは図書館の蔵書全体の一部です。その他は書庫で管理を行いご希望があれば蔵書として職員が書庫から出してきて提供しています。
委員	その書庫の本を移動図書館車の入れ替えする本と共有できないのですか？
事務局	移動図書館では巡回場所によって需要のある本が異なりますので、その巡回場所にあった本を移動図書館書庫から積み替えしています。そのための移動図書館書庫だどご理解いただければと、決して眠らせているわけではありません。
議長	小学校に行くときとまちづくりセンター等に行くときには入れ替えしているということですね。
事務局	はい全てを入れ替えているわけではありませんが、できる範囲で入れ替えを行っています。
委員	出来る範囲とは？どの程度ですか？車に積まれている半分の2000冊とかですか？
事務局	いえ正直そこまでは無理です。お昼休みに学校の巡回を終えて夕方地域の巡回場所に行くまでの間の時間ですので…具体的に何冊というのは把握できていません。
事務局	これまで図書館内ではそのやり方があたりまえだったわけです。今委員からご指摘いただいたように「それは無駄なのでは？」というようなご意見を聞いてみないと、職員はこれまでの常識で疑問に感じていないということがありますので、協議会でご意見いただいて改善していくべきところは改善していかないとおりました。
委員	そんな常識は考えてもらわないと、そういう根本の話ですよ。移動図書館の運転委託の費用だけでもどうこう言っているのに、この本の積み替え作業をしている人の費用はどこに出ているのですか？
事務局	それは一般の職員が行っています。
委員	大変じゃないですかその作業。こんなことは損益だけで言えば大赤字だし、それでは長続きもしないし、それは精査していかないと28000冊持っていて3850冊を入れ替えてそれも午前中午後の短時間で入れ替えようとしても、重い本を入れ替えしようと

	<p>思っても 100 冊入れ替えできるのが精一杯だと思いますし、残りの 3750 冊が変わってないというような中で、子ども向きとか言われても現実的ではないのではと思います。やるならやるでもっとやり方を勉強しないと、機械が入れ替えを行い次の時には短時間で機械が積み替えを行うとかそういう仕組みがあるとかなら良いが、人手間が一番高くつくので、それと 28000 冊の図書の選別も必要ですよ？除籍とか。それも職員の手間ですよ。莫大な手間をかけているわりには効果が出ていないということを指摘せざるを得ないです。そういうような観点も持っていただいて働いておられる方にも喜んでいただけるようにしないと実際できないでしょうし、これまで何十年も誰も疑問に感じてこれなかったのかと変なことだと思います。</p>
委員	<p>私が見ている感じでは図書館自体も平日の昼間なのであまり利用されているのを見かけません。親子連れと言っても今の若い親御さんは働いておられる方が多いので平日の昼間だと利用できる時間ではないし、現状ではターゲットを仕事をしておられない家におられる方に絞るしかないですよ。</p>
委員	<p>ひと月に 17 か所を現在巡回されていますが、15000 冊の貸出冊数を 17 か所で割るとおのずと実績が見えてくるし、それに数字としては出ていないが予約を差し引きすると、ほとんど移動図書館では本が動いていないという話になるのではありませんか？</p>
委員	<p>それに地元で働いておられる方もあまりおられませんしね。</p>
委員	<p>それを考えると事務局が考えておられる土日運行に変更すると、そういう方にも利用の機会が広がるので良いと思いますが、それよりも移動図書館の根本的な見直しが必要だと思います。協議会に委ねるだけではなく図書館内で十分議論したものを協議会に提案して意見を求めていただきたいです。例えば移動図書館に精通している人が出てきて質疑応答に答えるとか。ただ学校に行けない子どもにも利用してもらえらる機会という部分は大切にしたいです。これは移動図書館とは違うケアの部分で、移動図書館がそのケアの機会として上手く機能するのであれば極論を言えば本なんて 100 冊もあれば十分なのではとも思います。そういう子たちが楽しみに出てきて、その子たちの成長するために有効な本さえあればという話なのでそれなら移動図書館の 28000 冊が必要かな？これを維持するのは大変なので、車だけの問題ではなく人手間も考えると、本の整理をしてもらっているだけでも本当に大変なので、実際移動図書館担当の方に来ていただけると負担具合もわかりますよね。本の利用自体もハンコ押さえますよね？それも見せてもらってその本がどれだけ回転しているのか、ハンコも 1 個も押していないとか、5 年間で 1 回しか借りられていない本ということならニーズのない本なので処分するなり違うところで活用するなりを考えて行かないと思います。</p>
委員	<p>先日、県立図書館の図書館協議会交流会に参加してきました、その中でも移動図書館の話が出ていました。私の班に多賀町の方がおられ多賀町は移動図書館の運行をされているのですが、多賀町はご想像のとおり山間に小さな集落が点在していますのでそういう集落へ移動図書館が活躍しているらしいです。ただ湖南市同様貸出冊数は減</p>

	<p>少し、車も老朽化しているし新車購入は予算化が困難であるということで、まあ東近江の方も言われていたのですが湖南市だけの問題ではなくて全県的な状況だと思いついていました。その中で山間部を抱えている所などは特にだと思いつますが図書館側としてはそういうところに図書館サービスを届けるためには図書館の職員さん自身は大切だと思つておられる、しかし今のお話のように効率性とか人手の問題とかの議論になると数字の上ではなかなか対抗できないなという話をされておられていて、同じような悩みを抱えているなと思つました。ただこの間運営してきて学校の問題もあり地域の問題もあり、それぞれにどういつ役割を果たしてきたのか、先ほどのご意見と重複しますが実際に図書館でやられてきた側として、費用はこれだけかかるがこれだけの価値があつたとか、図書館内で議論があつての方向性だと思つますが、こういう点が良いてここは残さなければとか、ここはちがうなあとかそういう点を聞かせていただきたいと思つます。その上でどこを伸ばすのか、ここはもういいということがあるかと思つますし、ただそれこそ平成 28 年度の数字を見ていると全体の貸出冊数は 15000 冊でその 82%程度は学校での貸出です。そういう意味では学校を巡回されて実績を上げてきておられたのだらうなと思つます。まあ学校といつても地域の方も借りていかれることもあるので全て児童とは言えないとしても、地域にシフトいくというなら極端な言い方をすれば、80%は切り捨てますそして地域にシフトしていきますというならなぜ 80%は切り捨てて地域にシフトするのかをハッキリさせていかないと非常にわかりにくいなあと、要はこれまでの総括と地域にシフトする意味を教えていただければ私たちも議論がしやすいと思つます。</p>
<p>議 長</p>	<p>シフトしなければというの、限られた事業費と人手の問題ですよ。現状では確かに学校での貸出冊数が占める割合は大きいのですが、学校にある蔵書で賄えるような数字ではありますよね。子どもたちは本の借り方としてマツゾウくんを楽しんでいるというところがあり、同じ本が学校にもあるけれどマツゾウくんがくるからそちで借りようという、ごっこ遊びのような楽しみのマツゾウくんの利用方法なのかなと思つます。教育委員会サイドでは削減できるところを探っていくと重なっていること、本であればマツゾウくんにもあるけれど学校図書館にもあるとか、それなら学校であれば学校図書館を利用してもらつてマツゾウくんはその分他の所で活用していこうということで移動図書館をなくすということではないですよ。現状での予算と人を使ってこれからもマツゾウくんの存続について意見を求めておられると思うのですが、委員のみなさまにはなぜそうするのかが見えないと意見が出しにくいということもあると思うので、今まで実際に携わつてこられてこういう効果があつたとか、たとえば当初は子どもの読書意欲を促すためのものだったがそれは他で出来るので、今後は高齢者など向けに活用していくとか、図書館側の意見をはじめに聞かせていただいた方が委員の皆さんも意見が出しやすいと思つます。また先ほどのご意見でも図書館自体も平日は利用者が少ないということがマツゾウくんにもおきているのに、それをあえて存続させる意味を見つけていくためには今後どうしたいという展望が見えないと明るい意見がいただけないと思つますし、逆にそれならいっそ辞めてしまうという</p>

	<p>考えもあるのかも含めてお考えを教えてください。やってきた意味というか意義を教えてください。</p>
事務局	<p>移動図書館はもともと旧甲西町の時に甲西図書館から離れた地域を補完するという目的でサービス展開を始めました。当初は自治会館や公民館等地域の拠点のみを巡回していたのですが小学校も当時は現在のように学校図書館が学校司書が配置されていることもなく整備がなされていなかったのが小学校へも来てもらえないかということで小学校への巡回を開始したという経緯です。そのうち保育園幼稚園も同様に要望がありそちらにも巡回を拡げることになりました。</p>
事務局	<p>考え方としては図書館のお近くにお住まいの方は図書館で良いのですが甲西図書館まで足を運べない方、お車に乗れない方などにも図書館を貸出できる環境をいかにつくるかという一つの手段が移動図書館であったと思っています。また当時財政が豊かであった旧甲西町の時の図書館の基本構想の中では分館を作る計画も盛り込まれていたのですが、中学校区毎に分館を建てるということであれば移動図書館も廃止という考え方もできただろうと思いますが、それは叶いませんので図書館に足を運べない方にも図書館の貸出ができる機会を設けるための移動図書館という考え方でした。</p>
委員	<p>それでは別に移動図書館でなくてもという話に思います。例えば子どもがマツゾウくんで本を借りることで本好きになったとか、お年寄りに届けるといってもお年寄りが本当に本を読んでおられるのか、お年寄りもタブレットを使われる時代に本当に本を楽しみに待っておられる人がいるのか。それをおはなしの機会にと言われるならそれは移動図書館でなくても他の方法も考えられるのではとも思いますし、図書館ならではの必要性。これは残そうという意味があるなら、寄附を集めてでも移動図書館を残そうという運動にも展開できるのかもしれないが、寄附を集めて残しても利用されていないでは意味がない。移動図書館でなければならぬ意義があればそれが重要。意義と効果を基礎数値をもとに出していただいて、将来はこうしたいという構想と。それも現場の声もしっかり出して、それと実際利用されている人の声を集めてもらいたい、本当に便利なのか、利用者の実際の声聞けば移動図書館車が来てるから利用しているだけっていう声もあるかもしれないので。ここに来ている人は移動もできるし昼間仕事されている方もおられるので移動図書館を利用されたことはほとんどいないでしょう。車を見かけることはあっても。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、平日の昼間の巡回ですので移動図書館の利用者は限定されているのが現状です。</p>
委員	<p>20分しか止まっていなければ行った時には車がなかったとか。</p>
委員	<p>現実的にはそれでも、それ以上の労力がかかっていますよね。チョット回るだけでも1時間くらいあつという間ですし、今はテレビも良くなっておりますからね。それよりは学校なら学校図書館を充実した方が良く私は思います。</p>



委員	1回目の会議の後に拝見しましたが、確かに良いものだしあれを見たら子どもは借りようという気になるかもしれません。ただそれを運営するために大変な労力を要しているというのは本日お伺いしてわかりました。
委員	平日この時間だと学校に巡回しないと子どもは借りることができないですね。下校してから16時ごろだと借りる時もあるかもしれませんが。
議長	12月の巡回予定が出ていますが、平成30年1月2月の水・木曜日を土日曜日に変更するという事は考えられませんか？
事務局	今年度は年度末まで3月まで巡回計画が決定していますので、現状無理です。
委員	そこが行政らしい融通のきかないところですね。
議長	これを土日曜日に回ってみてどうだったということがあるとも思うのですが。
委員	実験的にどこかを土日に行ってみて、そっちの方が良いと判断されればそれを全体に広げてみるとかする方が良いと思います。 この協議会は決議機関ではありませんよね？
事務局	はい。ご意見をいただく会議です。
委員	決定は館長でなさるのですか？
事務局	いえ、本日教育部長・次長も出席しておりますが教育長も含め教育部で決定することになります。
委員	ですね。実験的にどこかを土日に行って、やはり評判が良いので土日に巡回します。逆もしかり。やってみないことには何ともいえませんね。
議長	移動図書館のおかげで利用者が増えたという時期はなかったですか？
事務局	図書館自体の利用への影響ということですね？その関連をみるのは難しいので正直わかりません。
委員	平日の昼間は仕事に行かれています方が多いので、対象がお年寄りか仕事をせず育児に専念されている親御さんということで限られてきますよね。
委員	しかし移動図書館自体はスタート当初からその状況は変わっていないと思います。だからそういう状況下でも本に触れる機会を提供したいということでやってこられたと思います。ただ問題は貸出冊数が移動図書館だけでなく全体に減っている。しかしその割合よりも移動図書館の減少の割合の方がより大きいというのが言うのが現状ですね。じゃあなぜ激しく減少してきたのかというのを図書館で実際移動図書館に携わってこられた職員さんに何が原因でそのようになってきたと考えておられるのかを聞かせていただきたいです。それを踏まえて移動図書館の役割は現在の社会状況やインターネットが普及している世の中でムリだと思われるならそれはそれで一つの考え方だとも思いますし、実際どう思っておられるのかなあというのがお聞きしたいです。

	<p>図書館協議会は先ほど言われたように決議機関ではないので、財政状況はどうあれ実際のニーズや図書館の理念に基づいて意見できると思います。職員さんはそうはいかないのは良くわかるので、実際に対財政のやり取りでいかに事業運営を行うかという発想になって行かないとダメだと思うので、そういう意味で我々委員は市民の代表として図書館の理念としてはこうだよということを申し上げたいし、その前提として先ほど言いましたことについて教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>マツゾウくんが小学校への運行をはじめた当初は、学校の数も少なく時間帯も放課後の時間を利用していましたので、子どもたちが家に帰る前にマツゾウくんを借りるとい、先ほども言われましたお楽しみの部分がありました。けれども放課後のお楽しみというのが社会的な状況によりダメになりました。それは子どもを狙った事件等が起こり放課後子どもたちは集団で下校しなければならない、すぐに下校しなければならないと変化し放課後マツゾウくんが学校へ行っても子どもが全く来ないという状況になりました。そういう状況を踏まえお昼休みに巡回時間を変更し、また学校の数が増えお昼休みだけでは巡回できなくなり長休みを使うようになっていきました。ただ休み時間は子どもたちは遊びたいという気持ちがあります。さらには外遊びが推奨されています。今日は縦遊びがあるからムリとか、何かの準備でマツゾウくんへ来る時間がないとか、特に長休みは子どもがマツゾウくんを利用するにはムリがあるように感じています。図書館側にとっては巡回回数は増えていても1回の滞在時間はどんどん短くなったと思っています。また学校によってマツゾウくんの対応が異なるのですが先生が事前に呼びかけしてくださっている学校ですと子どもも利用カードを準備しているのですが、先生が当日にしか声かけして下さらないところは子どもが利用カードを持っていなくてマツゾウくんが来ても本を借りられないということもあります。というようなことが自分がマツゾウくんに10数年携わっていて状況がどんどん変化したと感じています。それから私個人の考えとしてはマツゾウくんの意義は、子どもが親や学校の先生以外の働く大人の姿を見る数少ない機会ということと、勉強のためでは楽しみのための本。また本を通して違う世界への入り口へのいざないとしてのマツゾウくんの意義があったと、今現在社会の状況の財政状況も学校も変わっている状況の中で新たなサービスを模索している途中だと思っています。</p>
委員	<p>いつからどれくらい巡回されていたのですか？</p>
事務局	<p>平成2年のマツゾウくん巡回スタート当初から、主担当ではなく運転もできないので同乗して週1～2日程度行っていました。</p>
委員	<p>その時は運転手さんと2人ですか？</p>
事務局	<p>運転手さんを委託するようになったのは3年程前からですのでそれまでは職員が運転して2～3人で行っていました。</p>
委員	<p>その当時は図書館の職員さんがいっておられたのでおすすめの本の紹介などもできたのですね。今は本を知らない運転手さんが行っておられるのですか？</p>

事務局	今は運転は委託の方ですが、図書館の職員1名が同乗して行っています。
議長	小学校以外の地域の巡回場所ではどのような様子ですか？併せて教えていただけますか？
事務局	長くやっていますので巡回場所も変更になっているところがありますが、スーパーに近い所ですとお買い物の帰りの方が利用されたりとか、まちづくりセンターですとお年寄りももちろんおられますが、車がつかえないお母さんと子どもさんであったりさまざまな使い方をされている印象です。
議長	先程の多賀町もそうですが、移動図書館はお車に乗れない方や移動手段がない方の読書環境を補完するために図書を持っていくというイメージだと私は思っていて、湖南市は個々の条件はあるでしょうが何とかなるのではという、移動図書館がなくてももしかしたら大丈夫とまで言うのは語弊がありますが、なくてもそう困らないというものなのかなあとも思うのですが、湖南市では当初から運営しておられる移動図書館をこのままフェードアウトさせてしまうよりは、形を変えてこういう利用をしていますという復活させるイメージで教育長などは小学校は学校図書館に任せて、それ以外の所で活躍させるという風なお考えなのかなと思っています。その形をこういう風に変化させていくというようなビジョンを示していただいた方が良いと思います。今と同じような、というか今までと同じではこの移動図書館は運営はできないということだろうし、ではこういう使い方をしていきたいというビジョンを提案いただいた方が良いと思います。例えば冊数ありきなら学校・保育園だけを残すで良いのですが、冊数ありきではない巡回コースを変更する意味があるでしょうしそれをお聞かせいただきたいです。
委員	最初に図書館の人員体制もあり平日の運行がむずかしいので土日に運行日を変更する提案をされたわけですが、前回か前々回の会議でも障がいをもつ方の支援施設でマツゾウくんが行ってそこに地域の人も集まってというそういう意味も含めての地域の人が集まる場づくりのひとつの取組みで、マツゾウくんが新しい展開をして行けるのではと私はそちらに可能性を感じますし、新しい形での移動図書館サービスだと思います。わたしも先ほど言われました県の図書館協議会交流会に行ったら東京の日野市では移動図書館を来年から1日図書館としてずっとそこに置いて、今はぐるぐる回っていますがそうではなくて新たな形を取りたいのと、1日図書館方式になるかもというまだ検討の段階と言われていましたがそういうお話も聞いてきました。今の県内の移動図書館車は先ほども言われましたように老朽化も進み、利用者も限定され貸出冊数も減少しているのは図書館共通の状況ですし、それは県内にとどまらない状況で、その中で新たな形で日野市は1日図書館という形を検討されていますし、こちらの協議会でも今までとは違う場所でそこに移動図書館が来ることでそこに地域の人が集まるたとえ1日でなくても半日でもそういうことも含めて検討をして行けると良いなあと思います。図書館の職員さんが平日移動図書館の運行に関わることで本来業務に支障を来しているというのも現実でしょうし、それも含めた上でそれ以上の新たなスタイルを湖南市スタイルを作っていけると嬉しいなあと思いますし、そういうものも含

	めて示していただければと思います。
議長	運行曜日もさることながら1箇所20分の滞在時間という現状は本当に短いと思います。利用される方も運営されている図書館の方も1箇所があまりにも短すぎるので、日野市さんの1日移動図書館をその場に設置しようというのも今後の利用方法として検討する価値があるかなあとと思いますし、移動図書館を存続させる方法の一案を前向きなご意見をいただいて、もちろんここで決定できることではないでしょうけれども、実現可能なようなご意見をいただけると良いなあとと思います。
委員	おっしゃることは大変理解できるのですが、実際に時間が短くても学校でこれだけの数借りておられて、菩提寺北小学校の先生とお話していると学校の図書ではなかなか入らない新しい本を移動図書館が持っておられてそれを子どもたちが楽しんで借りているので移動図書館車は必要という、これはその先生の個人的な意見かもしれませんが、移動図書館車の巡回コースが変更になることについて学校の方はどう思われているのか聞いてみたい気はします。
委員	図書館って何のためにあるのかなあとという考えが頭をめぐっています。私自身は保育園幼稚園で勤務していたのですが、マツゾウくんが来る日は子どもたちにとってすごく楽しみの日でした。家庭によっては本をたくさん買ってもらっている家もあれば家に本が全くないという家もありますし、今タブレットもあるのでそれを見ておくよという親もいます。そういう環境で育つ子どもたちの今後の成長について大人の私たちが考えなければならないと思うのです。私は岩根保育園へ読み聞かせにも行っていますがその園長先生もすごく嘆いておられます。その声が届いていないのかとそれも不思議です。0歳児から小学校に上がる前の子どもまでいますが、その子どもたちの置かれている環境を見てその中でいかに子どもを育てるか、マツゾウくんが来て1冊しか借りないにしてもその楽しみを奪ってしまったと思います。今の全体のニーズや財政面とか事情はあるかと思いますが、根本的な部分で何が大事かということをもう一度問いただして欲しいと思います。
委員	新しいことが定着するには時間がかかると思います。続けることが大切です。半年くらいで終わってしまっは意味がないです。
委員	先程のお話で学校にマツゾウくんが来るということ子どもにお知らせされるのも当日にお知らせされているようでは、学校の先生の意識も問題ですよ、忙しい時間を割いて来てくださっているのだという意識が低いなあと驚きました。
事務局	親の意識と言いますか家庭によって、本に触れる機会がたくさんあるという家と全く本を手にもとられないという家という格差があり、それが子どもの読書意欲や本好きになる子どもとの差になっていると考えています。図書館としては、マツゾウくん子どもは自分で喜んで借りてくれています、その子どもが選ぶ本がその子どもの成長にあった本なのか、読んでもらいたい本なのかという思いがあり、そこは親が理解した上で親子で本を選んだり、親から子どもに本を手渡す大切さがあると思っています。それを保護者や子どもに関わる大人へ伝えることを目的に、本年度からで保護者や保育士さんなどが集まる機会に出前講座を展開しています。それが図書館や移動

	<p>図書館を利用できない働く親御さんにも本を子どもに手渡してもらいたいので、移動図書館は土日地域に行くことで働く親と子どもにも一緒に足を運んで親子で本を選んでいただける機会にも広がっていくのではと思っています。今は子どもが勝手に好きな本を借りているだけという現状も気になっていますので、移動図書館とそういうことがリンクしていければとも思います。</p>
委員	<p>先ほど図書館内で図書館のグランドミッションを検討して考えたと言われましたが、色々な意見が出るたびにその内容が言い訳のように増えているように感じます。もしそのようなグランドミッションがあるなら現状はこうで課題としてこういうことがある、だからこういうことをグランドミッションとして提案する。というものを示してもらってそれを論議するのがこの会議ではないかと思います。こういう意見が出たらこういう。また違う意見が出ればこういうというように言い逃れのようにしか聞こえないのです。学校の立場から言うと保育園幼稚園もそうでしょうがマツゾウくんにはずっと継続的に来てほしいというのは変わらないと思います。それを踏まえてもコース変更が必要なのなら、なぜそういう風に図書館が思うのかというのを文面なり決まった形で出していきたい。</p>
議長	<p>お立場によって移動図書館への想いや今後の展開についてのお考えも違うのでご意見も様々ですが、先ほども言われたように一番大切なものは何かという事、根本は何かということが重要です。時代の流れで変わって行かなければならないでしょうが、一番大切なものを守りつつどのように変化していくのか、今何をすべきか図書館がどうしたいかを示していただいた方が議論はしやすいと思います。また移動図書館を本来の図書館の入り口として、マツゾウくんを利用したことで図書館に足を運んでみようかなあとか、今まで図書館を利用していない人が図書館を利用してみようという人を増やしていくためにもマツゾウくんの存在意義があるので、例えば県内では米原市が2011年に新たに移動図書館サービスを開始されていますので、新しく取り組まれてどうなのかとか、何か参考になるようなことを調査したり、例えば視察見学させていただいたりというようなことも良いかなあとと思いますが、もう一つ移動図書館の今後の展開に加えて新たな利用者を増やすために、これから図書館が向かうべき方向性を残り少ない時間ですがお話しいたきたいと思います。これまで図書館に全く足を運んでおられない方や、外国から来られている方、また障がいといっても精神的な障がいをお持ちの方で利用が難しいと思われている方もいらっしゃるかもしれないので、そんな方たちにも親しんでいただける図書館になるために、その第一歩となるためにどういうことを発信していけばというご意見もお伺いしたいと思います。実際図書館として新たに利用登録された方の傾向はどんな感じでしょうか？そう増えてはいないとは思いますが。</p>
事務局	<p>一概にどういう方がというと難しいのですが、保健センターの乳幼児健診の際にブックスタート事業の中で司書が出向いていく中で、図書館利用の呼びかけと赤ちゃんの利用登録の呼びかけも行っています。それだけが要因ではないにしても一定効果があり小さい子どもが利用登録されていますし、それをきっかけに親御さんが小さい</p>

	<p>子どものおはなし会の参加が増えたということがありますので、新たな転入者だけでなくブックスタートで図書館を知り、図書館へ来ることでおはなし会に参加したり、おはなし会へ参加した後に本を借りて下さったりと相互に効果が出ていますのでそういう取組みが大切だと思います。</p>
議長	<p>小さい子どもさんがおられるお母さん方は、こちらから呼びかけをそうしなくてもお母さんたちのネットワークでおはなし会などの情報を得ておられることもあるでしょうが、それ以外の青年や大人の方への働きかけというか、こういうことをすると新たに足を運んでもらうために有効であったというようなことは最近ありませんか？</p>
事務局	<p>そうですねそこが難しいのです。ただ過去に中学校で取り組んでおられる本の帯の展示を図書館事業として実施したときに足を運んで下さいましたし、中学校の本の帯展を玄関ドアの行ったところで今年は行いましたが、そこには中学生などもたくさん来て下さいましたし、それに興味を示し、その本を借りて行かれたりということもありました。そういう意味でいろんな仕掛けや工夫は大切だと思いますし、いろんなご意見をいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>新たに登録される方というのは限られてきています。概ね皆さん図書カードは作っておられていて、新たな転入者とカードを作ったことのない小さい子どもさんに留まっているように思いますし、新規の登録者というよりもカードは持っているけれども何年も利用していないという実利用者数を注視していかなければならないと思っています、ただ統計的に何年も図書館を利用していない人の数を登録者数の中から洗い出す方法がないので数字としては表せないのですが、小学校の時は利用していたけれど、中学校以上になると、貸出がガクッと落ちると先ほども言われていましたがその辺りの年代の方、小さい時には利用していたが今年になって利用していないという人をいかにして図書館に呼び戻してくるのかという辺りも一つの課題であると思っています。</p>
委員	<p>コンサートであったりおはなし会であったりという、催し物ごとの参加者数の統計はありますよね？それも減っていますか？</p>
事務局	<p>第1回の資料で催し物の参加者数をお渡ししたのですが、催し自体の開催数が減っていますので、コンサートにしても昨年はやっていませんし、継続的にはおはなし会を続けていてそちらの参加人数は少しずつではありますが増加傾向です。</p>
委員	<p>この会の進め方で、わたしたち企業ではPDCAサイクルというのがあって計画して実践して評価して改善するというサイクルがあり、それにより会議が成り立っているのですが、この会議がゴチャゴチャになっているので、筋道を立てて例えば今回は調査、今回は計画というように分けて議題にさせていただけるともっと議論ができると思うのですが、会議の持ち方に問題があるように思います。それは事務局に決めてもらわなければならないのですが意見は言わせてもらいますので、それがないと話があっち行ったりこっち行ったりになりますので、そういう会議の進め方を主題を設定していただけるともう少し具体的に話も進むのですが、これを繰り返していたらおそらく同じところをグルグル回るだけで、やめることもしないし、することもしないしで</p>

	<p>1年終わりましたということでこのメンバーが変わってまた新たなメンバーで同様の事が繰り返されるということになりかねないので、そういった精査をしていただきたいです。それと基礎部分の調査分析をせめて利用者の100人にでも意見を聞いていくとか色んな提案をいただいてそれに対して私たちも意見ができますし、極端なことを言えば広報でマツゾウくんを廃止しますと宣言してみるとか、そうすれば皆さん驚かれて「なぜやめるのか」という反応も大きいでしょうし、続けていることには意見はでないですがやめるといえばいろんな意見が出てくるし、その時に「なぜ」ということについてもっと議論が深まると思うので是非そのようにしてほしいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>確かに広報では図書館のページが毎月確保されています。しかし内容が毎月同じような紙面になっているので、皆さんパッと見ただけで見ただけになっているということはあるでしょうね。そういう意味では「マツゾウくんを廃止します」というのは極端だとしても、それくらいインパクトのあるようなお知らせで、せっかく講演会やおはなし会も毎回楽しみに必ず来られている親子の方もおられるようなので、せっかくの紙面をもう少し工夫していただいて、あの紙面で人が呼べるようなアピールをしていただくと良いなあと思います。中学生の本の帯コンクールの取組も大変すばらしく私も毎年楽しみに拝見していますが、例えばそれを現物は運べないにしても写真に撮ってマツゾウくんに掲示して「今甲西図書館で本の帯展をしていますので是非見に来てください」というようなPRをされるとか、お店でもPOPを1枚つけるかつけなからで違いますが、そういうようなサービス力を上げて行かないと「来てください、利用してください」だけでは魅力を感じないと思うので、そういうところからでも何か一つ図書館側からも一歩踏み出さないと、じゃあ久しぶりに図書館へ行ってみようという気持ちにはならないかなあと思います。年々催し物の数も減っているならその数少ない企画を頑張っていくということも一つだし、こちらが意見を出していても「前回ご意見いただいたのでこのようにしました」ということが見られないので意見のし甲斐がないというところもあると、今ご意見をいただいて感じました。まあせっかく色んな立場のかたにお集まりいただいていますので、図書館から足が遠のいているかたに再び図書館を利用していただくために大切だと思われることがあればご意見お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>図書館は利用登録をしたらしっぱなしで顧客管理が行われていないなあと思います。民間でしたら顧客に対してメルマガを送ったりして足を運んでいただけるようにしますよね？これは図書館システムの問題なのですか？前に図書館システムの検索が不十分という話がありましたので調べてみたら新しいシステムに入れ替えされるということなのでそれで管理できるのですか？まあそうでなくてもお客さんという意識でそれをつかんで、例えば今回のマツゾウくんでしたら「廃止しますよ」とワークショップでも開いてみるとかやってみたら皆さんハッとしてまたお客さんとして利用されることもあるかもしれませんし、まあ行政はそういうカラを破るのは難しいのですが、お客さん意識で常にサービスするとか、新鮮なこと興味を誘う広報をしていかないとみんな離れて行かれるかなあと思います。しかも人口は微増しているとはいえ外</p>

	<p>国人が増えているだけですので、先日甲西文化ホールでもありましたけれど高齢化している上、日本人は減っているが外国人が増えていて結果湖南省の人口は増えているということです、障がい者やお年寄り、外国人ない子どもにもっとサービスが行き届くようにしなければと思います。</p>
委員	<p>自分がここでどんな話ができるかと考えながら皆さんの意見を聞いていたのですが正直あまりなくて。マツゾウくんについては先ほどから説明いただいたのですが、小学校側としてはやはり長休みはムリです。20分はとってあっても実質の時間は10分です子どもたちが動けるのは。昼休みですとまだ短い時間でも本が好きな子は10冊とか借りてきますが。それから学校の意識という話も出ていましたが、どの学校でも校報にはマツゾウくんの巡回日は入れているはず。ですから教師個人の意識の高さ低さとかそこまで言われるとチョット違うかなというふうに思います。それで図書館が移動図書館の土日の運行とかはいろんなことを考えておられることについては、新しい取り組みの方策とか、やはり何か考えて行かなければならないのだと思いますが、マツゾウくん自体の貸出冊数を冊数で評価した場合には減少するのは目に見えているように思います。また学校の図書館についても29年度から学校図書館の新しい〇〇計画ですかそこら辺りとリンクさせながら、学校図書館と公立図書館をリンクさせるのはちがう話なのかもしれないけれどもそういう糸口も見つかるのかなあというふうなことも考えています。いずれにしても学校でもマツゾウくんを楽しみにしている子どももいますのでその辺りも大切にしてもらいたいと思います。</p>
委員	<p>移動図書館の件はこれで終わりですか？図書館協議会で資料をいただいて議論しますよね。その議論は何なのでしょう？意味がある議論なのか、それともこういう意見があったで終わってしまうのか、その辺の位置づけはどうなのでしょう？</p>
議長	<p>確かに行政的な手続きがあるのか、前回の会議の意見を受けて今こうなっていますというのはムリなのかはわかりませんが、図書館として有効かつ可能であればどこかに取り入れるためのものなのですか？</p>
事務局	<p>移動図書館に関してはこれまでの会議の意見をお伺いした上で、今の図書館の現状、職員体制や予算などと照らし合わせた上で土日に地域で運行することで、子どもや移動が困難な方も来ていただけるという日程の設定で次年度から展開をしたいとまとめさせていただいたということです。</p>
議長	<p>マツゾウくんに関しましては引き続き利用者のニーズや意見を聞いていただいて、また協議会にも資料として提供いただければ、今後の展開の材料にもなると思いますのでお願いします。また今後の図書館サービスの展開について前回の会議で他市の図書館の視察をしてはというご意見をいただいていたのですがどうでしょうか？たぶん見学となると平日お昼間になりますでしょうし、なかなか全員揃ってはムリかもしれませんがいかがでしょうか？</p>
委員	<p>私が前回提案していたのですが、近畿大学の大学図書館に新しい施設が建って早速見学に行きお話しを聞いてきたのですが、従来の図書館とは別物とっていただいた方が良くらい新しい感覚のものになっています。カテゴリー別に分かれていて、部</p>



	<p>屋も多数あって、それが好きな人、漫画もあるのですが漫画が好きな人がそこに行けばなんでもわかるというような、福祉分野ならそれだけに特化して人だけがそのコーナーにいられる。いろんな人が混ざっておられるという場所ではないです。すごく興味関心が沸くし、マツゾウくんが子どもの楽しみなら近畿大学の図書館は大人が楽しめる所だと思います。そしてカフェもあって、極端な話安上がりなデートをするならそこで十分楽しめるようなところですよ。またこちらの図書館は一般の市民も年会費 6000 円で会員になれるのですが、それが現在 2 万人だったかの会員で利用者が増えすぎていたので今新規会員登録をストップしているそうです。学生も合わせるとこれ以上は受入れがパンクするからということです。一般市民の方にも大変反響があったそうです。しかしこの蔵書は 2 万冊程度らしいです。ただし本館には 30 万冊あって、まずはここで興味関心をもってもらって、さらに学びを深めたい場合には本館を案内されているという、本離れを防ぐまずは本を好きになってもらおうという図書館です。対応していただいた方も大変本にも精通されていましたし施設の意義や目的にもしっかり説明させていただいたので、先ほどのサービスレベルを上げて図書館へ足を運んでみようと思える図書館だったので協議会の視察ならお受けいただけるという了解もいただいてきました。ただあまりにも立派な施設なのであれが作りたいたいってムリだと思いますがせっかくの機会なので、新聞などにも取り上げられた図書館ですので利用していただいたら良いかなと思います。</p>
議長	<p>規模が全く違いますが本に興味を持ってもらうという導入の部分でマツゾウくん入口に甲西図書館、石部図書館へ案内するということの参考になると良いですね。</p>
委員	<p>マツゾウくんはそこまではいかないですが、マツゾウくんというよりは今度甲西図書館が建て替えになるなら、見ておいて参考になるかもしれないし、図書館は無料が当たり前でしたが、これからは維持管理していくために楽しんでいただけるならいただける方からはいただくという新しい発想もできるかもしれませんし。</p>
委員	<p>まあ満足がいくならお金を払っても利用価値はあるでしょうね。</p>
事務局	<p>1 回目の会議のご意見の中に、石部図書館と甲西図書館でそのように特色を出していくのかという、同じ内容のサービスのものを大きい図書館、小さい図書館をもつていても仕方がないというご意見をいただきました。もしかしたらそういう部分、石部は今見ていただくくらいのコンパクトな図書館で平日の昼間は利用が少ないというのも身近で感じていただいていますので、例えば近畿大学の図書館のような特色の出し方をして甲西の図書館につないでいくという本を好きになるきっかけづくりであり入口になるようなヒントをもらえるかもしれませんので、もしよければせっかくご了解もいただいて下さいましたので皆さんで視察していただいたらいかがでしょうか？</p>
委員	<p>私も見に行ったのですが、松岡正剛さんが監修されていてあまりにも立派すぎて面白いですが参考というにはほど遠いです。</p>
委員	<p>それはそうです。費用面でもほど遠いです。しかし見せてもらうことによって何か発想の転換ができて、本好きの人を作っていけるかなと思うのです。</p>

委員	活用ということでお客様に来てもらうという意味で、図書館の中にカフェを置いているそうしたら人が自然と集まるとかということもあるので、ハードではなくそういうソフト的なヒントがあるのではないかということだと思います。行政的には「そんなことはムリ」ということが最初に浮かぶと思いますが、我々は委員になってから関心を持って色んなところを見ているので何かのヒントにはなるのではと思います。
委員	言われるように、これまではそういう感覚はなかったのですが、委員になって色んな関心を持って他の図書館のことも見ている、これからはこういう発想も持つことも大切なのかということを感じさせていただきました。それが正しいかどうかはわかりませんが、近畿大学は大学運営として学生を集めるためという部分もあって目玉として取り組まれ学生もたくさん集まっているらしいので、それなりの効果はあるようなのですが、若者で図書館が賑わっているのをみるのも何かのヒントが得られるかとも思います。
委員	先日の県の図書館協議会交流会で長浜市の話だったのですが、長浜市は総合拠点施設を31年度だったかに建設され、その施設の中に複合施設の一つとして図書館を作るという話になっていて今それに向けて準備されているということと、もう一つは既に平成28年度に図書館の基本計画が策定されていて、その計画と新しい施設がどういう風に整合性を持っているのか、また基本計画に協議会の意見がそこに反映されたのか、またそれに向けてどのような努力をされたのか、そういう話を聞いてみたいと思っています。その場でも話はしていたのですが、あまりよくわからなかったのです。経過も含め複合施設に向けてどのような動きなのか聞くのも良いのかなあと思って帰ってきましたので一つ案としてご検討下さい。
議長	これからできる図書館も滋賀県下にもありますね。できれば湖南市で取り組めるような、あそここのことは取り込みたいねというような所を見学できるとより委員さんからのご意見も反映していただけるのかなと思います。どうでしょうか？今視察先を決定した方が良いですか？行けるかどうかは相手方に聞いてみないとわかりませんが
事務局	そうですね。とりあえず次の日程を決めていただいた上で相手先との調整をして視察先を事務局で決めさせていただくということによろしいでしょうか？2月でお願いいたします。
委員	長浜はまだできてないですね？
委員	長浜は昨年市役所の庁舎を新しくされて。
委員	その後に総合拠点施設を建設されるそうです。
委員	長浜はまちづくりでも参考になりますよね。

事務局	では、みなさまのご都合で2月4日（日）か19日（月）で相手方との調整で日程を決定させていただきます。この日程については調整次第すぐにご案内いたしますのでよろしくお願いいたします。
議長	では事務局にはお手数おかけしますがよろしくお願いいたします。その他何かご意見ありましたらお願いします。
委員	さきほど図書館運営のグランドミッションをお願いしましたが、それと併せて新しい図書館自体のグランド・デザインが前から話に出ていて随分日が経ってきているので、それも文面で理念とか具体的な付帯設備的なものとかアイデアを持っておられるなら出していただければありがたいです。それと結論は出ていないのですが図書館として湖南省の子どもをどのようにして読書好きにするのかその理念というのを出していただきたいです。
議長	今年度は第4回が最後ですね。
事務局	はいそうです。
委員	1年任期ですか？
事務局	いえ、任期は2年です。
委員	この協議会ってどういうものなのだろうと先ほども申し上げましたが、2年かけて新しい図書館をどういうものにするのかという行政目線ではない協議会の意見をまとめるとか、そういう目標を持たないと、言いつばなしだと来る意味がないかと思いますので、その辺はこういうことをやろうということがあると来てやらせていただく張り合いがあるなと思います。
委員	確かに議論が枝葉の部分ばかりで幹の部分がないままこの枝あの枝となっているので、幹の部分を決めて次は枝葉の話になったら良いのですが、今日も末端の話はあるのですが根本はどうするのという議論がないままに話をするのでまとまりがつきにくいのかなあと思っていますので。
委員	視察も全員では無理でしょうが、行けるとところが県内にでもあれば行ける者だけでも行って、参考にすれば良いと思います。
委員	それから事務局へのお願いなのですが、色々資料を出してくださるのですが、この資料が何を意味するのか、どういう意図で資料を出しておられるのか、図書館側としてはどのように資料を読んでいるのかそういうことも教えていただけると議論しやすいと思うのです。今日の資料も見ていたのですがこれから何が読み取れるのか、例えば学校で増えているところがあるならこういう努力をされたから増えたとか、その背景があると思うので、お忙しいのにお手間ですがその辺も教えていただくと随分勉強になるなあと、資料を出される以上はその辺まで踏み込んでもらえる嬉しいなあと思いました。

議 長	資料のことはご配慮くださいますようお願いいたします。次回の視察についても何か目的をもっていかないとと思いますので、事前にヒントになるような資料をご提示いただくとそういう観点で視察の意味もありますのでよろしく申し上げます。教育委員会からは何かございますか？
教育部長	12月議会でもマツゾウくんが今後どうなるのかというご質問もいただいており、教育部としては今後どのような展開を考えていくのか本日の意見を拝聴しながら色々な展開を考えながら聞かせていただいていたいました。東庁舎の周辺整備計画の中で図書館のあり方についてはまだ議論がまとまっていないところで、図書館を入れるのか入れないのかとか、どういうものにするのかとかまだ決まっていないことですので皆さまにご提示できないのを非常に歯がゆく感じています。図書館のあり方については、私は私の考えを持っておりますが湖南省としてどうあるべきなのかということは皆さんの意見を拝聴しながら検討していきたいと思います。本日はありがとうございました。
議 長	ではどのような図書館になるかも全く決まっていないのですか？
教育部長	はい。様々なうわさがたっておりますが、実際に市の財政を考えるとその中で東庁舎の耐震化対策ということも言っておりますが、その是非ですら議会でも議論されております。これ以上は私個人が申し上げることはできませんが。
議 長	その辺りのご事情は皆さんご察しいただきたいと思います。では本日は長時間にわたり熱心にご議論いただきありがとうございました。これで第3回の図書館協議会を終了させていただきます。

[閉会] (午後 8時00分)